2026年10月26日-11月1日

62番の歌 新しい歌

私たちは「恐れずに神聖な奉仕」ができる

「[神は].....救いの角が現れるようにし.....恐れずに神聖な奉仕を行えるようにしてくださいます」。ルカ 1:69，74

ポイント：私たちはエホバのおかげで救われます。
救われたからこそできることや任された任務があります。

1. ゼカリヤはどんなことを預言しましたか。

集まっている人たちは興味津々です。高齢の祭司ゼカリヤとエリサベツに子供が生まれたことを聞いたからです。これはエホバが起こした奇跡でした。それでみんな口々に「この子はどんな人になるのだろうか」と言い合います。（ルカ 1:57-66 エリサベツは，出産の時が来て，男の子を産んだ。 58 隣人や親族は，エリサベツがエホバから大きな憐れみを示されたことを聞き，彼女と共に喜んだ。 59 8日目に，隣人や親族がその子に割礼を施そうとやって来て，父親の名前を取ってゼカリヤと名付けようとした。 60 しかし母親は言った。「駄目です！ この子はヨハネと呼ばれるのです」。 61 するとその人たちは言った。「親族の中に，そう呼ばれている人は一人もいません」。 62 そして，その子を何と呼びたいかを父親に身ぶりで尋ねた。 63 父親は書き板を求め，「**名前はヨハネ**」と書いた。皆はとても驚いた。 64 たちまち**父親**は，**口が開いて舌が動くようにな**り，**神を賛美し始め**た。 65 近辺に住む人は皆，畏れを感じ，この一部始終がユダヤの山地一帯で話題になった。 66 皆，聞いたことを心に留めて，「この子はどんな人になるのだろうか」と言った。エホバがその子と共にいたのである。）ゼカリヤは預言をして，もうすぐメシアが現れること，生まれた息子ヨハネが，みんながメシアを迎えられるよう心の準備をさせることを話します。*

* この出来事を描いた，「イエスが伝えた良い知らせ」の第1話を見てみましょう。スタディー版でルカ 1章 67節を開くと見ることができます。

（アモ 3:7 内密のこと(*秘密/意図)を預言者に啓示してからでなければ，主権者である主エホバは事を行わない。ルカ 1:67-79 父親の**ゼカリヤ**は**聖なる力に満**たされて，こう**預言**した。 68 「イスラエルの神エホバが賛美されますように。ご自分の民に注意を向け，救出されたからです。 69 そして，ご自分に仕えたダビデの家系に**救いの角が現れるようにし**てくださいました。 70 昔の聖なる預言者たちを通して語られた通りです。 71 神は私たちを，敵から，また私たちを憎む全ての者から救ってくださるのです。 72 神は父祖たちとの関係で憐れみを示し，聖なる契約を思い出されます。 73 この契約は，父祖アブラハムに誓われた誓いのことで， 74 神は私たちを敵から救い出した後，恐れずに神聖な奉仕を行えるようにしてくださいます。 75 私たちはいつの日も神の前で忠実で(*揺るぎない思いを抱いて)正しくあるのです。 76 **わが子よ**，おまえは**至高者の預言者**と呼ばれる。**道を整えるためにエホバの前を行く**からだ。 77 そして，罪の許しによる救いについて民に知らせる。 78 それは神の温かい思いやりによる。この思いやりによって，

神は私たちを夜明けのように照らし，79 闇と死の陰にいる人たちに光を与え，私たちを平和の道に導く」。）でも，この預言は現代の私たちにも大きな関係があります。この記事では，ゼカリヤが言ったことを深掘りしていきます。そして，私たちが**ぜひ大事にしたい3つのこと**を考えていきます。（1）救われるという事実，（2）エホバのためにできること，（3）伝道という任務。

救われるという事実

2.（ア）ルカ 1 章 67-73 節によると，エホバは愛する人たちにどんなことを約束していましたか。（イ）ルカ 1 章 69 節に出てくる「強力な救い主」は誰ですか。

2 ルカ 1:67-73 父親のゼカリヤは聖なる力に満たされて，こう預言した。 68 「イスラエルの神エホバが賛美されますように。**ご自分の民**に**注意を向け**，**救出された**からです。 69 そして，ご自分に仕えた**ダビデの家系**に**救いの角**が現れるようにしてくださいました。 70 昔の聖なる預言者たちを通して語られた通りです。 71 神は私たちを，**敵から**，また**私たちを憎む全ての者から救って**くださるのです。 72 神は父祖たちとの関係で憐れみを示し，聖なる契約を思い出されます。 73 この契約は，父祖アブラハムに誓われた誓いのことで，を読む。エホバは愛する人たちを***救う***と約束していました。誰を通してですか。ゼカリヤはこう言いました。「[エホバは]ダビデの家系に強力な救い主が現れるようにしてくださいました」。（ルカ 1:69 そして，ご自分に仕えたダビデの家系に救いの角が現れるようにしてくださいました。注釈**救いの角:** または，「強力な救い主」。聖書で，**動物の角**はしばしば，**力，征服，勝利**を表す。（サー 2:1。詩 75:4，5，10，脚注）また，**支配者**や**支配王朝**が，正しいものも邪悪なものも，角によって象徴される。**征服を遂げる**ことが**角で押す**ことに例えられた。（申 33:17。ダニ 7:24; 8:2-10，20-24）この文脈で，「**救いの角**」という表現は，**救う力を持つ者，力強い救い主としてのメシア**を指す。用語集の「角」参照。を参照。）この「強力な救い主」とは**メシア**のことです。当時，ユダヤ人はメシアに期待を掛けていて，そのメシアがアブラハムの家系，ダビデの王統を通して来ることを知っていました。（創 22:17，18 私はあなたを必ず祝福し，あなたの子孫(d*種)を必ず，天の星や海辺の砂のように多くしよう。あなたの子孫(d*種)は敵の町(d*門)を攻略する。 18 **あなたの子孫(d*種)**によって**地上の全ての国民**が**祝福を受ける**(*獲得する)。**あなた**が**私の言ったことに従った**からである』」。マタ 22:42「**キリスト**についてどう考えますか。彼は**誰の子**ですか」。その人たちは，「**ダビデの子**です」と言った。）じゃあどうしてエホバは，みんながよく知っていることを**改めて**ゼカリヤに**預言**させたんでしょうか。メシアが，もうすぐそこまで来ていたからです。半年後にマリアはイエスを生むことになっていました。天使ガブリエルによると，イエスは「神の子」で「父ダビデの王座」に就きます。（ルカ 1:30-35 天使は言った。「マリア，恐れることはありません。あなたは神の恵みを得ました。 31 あなたは妊娠して(*胎内に子を宿して)男の子を産みます。イエスと名付けなさい。 32 その子は偉大な者となり，**至高者の子**と呼ばれます。エホバ神は**父ダビデの王座**を**彼に与え**，33 彼は王としてヤコブの子孫を永久に治めます。その王国に終わりはありません」。 34 しかしマリアは天使に言った。「どうしてそのようなことがあるでしょうか。私は男の人と関係を持ったことがありません」。 35 天使は答えた。「聖なる力があなたに働き，至高者の力があなたを覆います。それで，生まれる子は**聖なる者**，**神の子**と呼ばれます。）イエスは30歳でバプテスマを受けた時，エホバの聖なる力によってメシアに任命されます。こうして，みんなが待ちに待っていた強力な救い主が誕生しました。（マタ 3:16，17 イエスはバプ

テスマを受けた後，すぐに水から上がった。何と，天が開き，ヨハネは，**神の聖なる力**がハトのように下って**イエスの上に来る**のを見た。 17 さらに天から声がした。「これは**私の愛する子**，私はこの子のことを喜んでいる」。）

3. 1 世紀のユダヤ人は誰から，そして何から救われる必要がありましたか。

3 当時のユダヤ人たちは**誰から**，そして**何から**救ってもらわないといけなかったのでしょうか。ゼカリヤはこう言っています。「私たちを，**敵**から，また**私たちを憎む全ての者**から救ってくださるのです」。（ルカ 1:71 神は私たちを，敵から，また私たちを憎む全ての者から救ってくださるのです。）この敵とは，当時の人たちを苦しめていたローマ政府ではありません。諸悪の根源***サタン***です。（ヘブ 2:14，15 それで，「子供たち」が人間(*肉体を持つ者)なので，**イエスも人間(*肉体を持つ者)に**なりました。それは，**自分の死により，死をもたらす者である悪魔を除き去るため，** 15 **また，死への恐れゆえに生涯ずっと奴隷の状態だった人全てを自由にするため**でした。）サタンのせいで人類は***罪を負い***，***死んで***いくようになりました。当時のユダヤ人はそういう状態から救い出してもらわないといけませんでした。**さらにユダヤ人**は，モーセの律法を完璧に守れなかったので，**みんな罰を受ける**ことになっていました。（ロマ 3:20 ですから誰も，律法に従った行いによって，神から正しいと認められることはありません。**律法によって得**られるのは，**罪についての正確な知識**です。ガラ 3:10 律法に従った行いに頼る人は皆，災いを被ります。こう書かれているからです。「律法の巻物に書かれている事柄全てを守らず，行わない人は皆，災いを被る」，13 **キリスト**は**私たちを買い取**ってくださいました。「杭に掛けられる人は皆，災いを被っている(*忌まわしい)」と書かれている通り，**私たちの代わりに災いを被る**ことによって，**私たちを律法の災いから解放**してくださったのです。）それでゼカリヤが言っていた通り，ユダヤ人には「罪の許しによる救い」がどうしても必要でした。（ルカ 1:77 そして，**罪の許しによる救いについて民に知らせる。**）

4. 私たちにはどんな敵がいますか。

4 私たちにも敵がいます。ユダヤ人と同じように***罪***と***死***から逃げられません。（ロマ 5:12 このような訳で，1 人の人によって人類に罪が入り，罪によって死が入り，こうして，全ての人が罪人になったために，死が全ての人に広がったように―。）***サタン***と***邪悪な天使たち***は，いろんな手を使って私たちに圧をかけてきます。さらにサタンたちは「*私たちを憎む……者*」つまりエホバの証人を嫌う人や組織を操って攻撃し，エホバから離れさせようとしてきます。こういったものから私たちは守られなければいけません。

5. イエスは今，私たちをどんなふうに罪から救ってくれていますか。

5 イエスはどんなふうに私たちを救ってくれるんでしょうか。まず罪から考えましょう。そもそも私たちは**罪まみれ**なので，エホバに崇拝を受け入れてもらうことはできません。イエスは，そんな私たちがどうすればエホバを正しく崇拝できるかを教えてくれました。ベストを尽くしてその通りにすれば，エホバに受け入れてもらえます。さらに，私たちは**罪を負って**いるので，間違いをしてエホバを嫌な気持ちにさせてしまうことがあります。でも，イエスが贖いとして命を捨

ててくださったので，エホバに許してもらえます。「ごめんなさい」と言うたびに，エホバは贖いに免じて，気持ちよく許してくれます。（ヨハ一 2:1，2 私の子供たち，皆さんが罪を犯さないように，私はこれらのことを書いています。とはいえ，もし誰かが**罪を犯したとしても**，私たちを**助けて(*擁護して)くださる方**が父のもとにいます。**正しい方**である**イエス・キリスト**です。 2 イエスは私たちの**罪を償う(*私たちを神と和解させる)**ための**犠牲**です。私たちの罪だけでなく，**全人類の罪のため**です。）そうやってイエスは，「**独り子に信仰を抱く人**が**皆**，**滅ぼされない**で**永遠の命を受**けられるようにしました」。（ヨハ 3:16 **神**は，**自分の独り子を与えるほど**に**人類**を**愛**したのです。そのようにして，**独り子に信仰を抱く人**が**皆**，**滅ぼされない**で**永遠の命を受**けられるようにしました。マタ 20:28 **人の子**も，**仕えてもらうためではなく仕えるため**に，また多くの人と引き換える**贖いとして自分の命を与えるため**に**来**ました」。）確かにイエスのおかげで救われている，と思いませんか。

6. 「ダビデの王座」に就いたイエスは，私たちに何をしてくれますか。（挿絵も参照。）

6 じゃあ，イエスはどんなふうにして私たちを徹底的に救い出してくれるんでしょうか。イエスは 1914 年に天で「父ダビデの王座」に就きました。（ルカ 1:32，33 その子は**偉大な者**となり，**至高者の子**と呼ばれます。**エホバ神**は**父ダビデの王座**を**彼に与**え， 33 彼は**王としてヤコブの子孫**を**永久に治**めます。その**王国に終わりはありません**」。）将来，ハルマゲドンの時に 14 万 4000 人や天使たちと一緒に私たちを憎む人たちを倒します。その後，1000 年かけて死んだ人たちを生き返らせ，私たちを罪から自由にしてくれます。（ヨハ 5:28 **このことに驚いてはなりません。記念の墓の中にいる人が皆，彼の声を聞いて出てくる時が来る**のです。コリ一 15:26 そして**最後の敵である死**が**除き去**られます。，55-57「死よ，さあ，勝利してみなさい。死よ，さあ，とげで刺してみなさい」。 56 **死をもたらすとげは罪**であり，罪の力は律法によります。 57 神に感謝しましょう！ 私たちの主**イエス・キリストを通して勝利を与**えてくださるからです。啓 22:1，2 また天使は，**命の水の川**を私に見せてくれた。その川は水晶のように澄み切っていて，**神と子羊の座から流れ出**ており， 2 都市の大通りの中央を流れていた。**川の両側には命の木**があった。それらの木は**年に 12 回，毎月実**を結び，**木の葉**は**人々を癒やすため**のものだった。）それから，サタンと邪悪な天使たちとその手下たちを完全に消し去ります。（啓 20:7-10**1000 年が終わるとすぐ，サタン**は**牢獄から解放**される。 8 彼は出ていって，**地の四方にいる人々(*国民)，ゴグとマゴグを惑わし，戦争のために集**める。その人々の数は**海の砂のよう**である。 9 彼らは**地上全体に広がって進み，聖なる人たちの宿営と愛されている都市を取り囲**んだ。しかし，**天から火が降ってきて彼らを焼き尽**くした。 10 そして，**人々を惑わしていた悪魔**は**火と硫黄の湖に投げ込**まれた。そこにはすでに**野獣と偽預言者**もおり，彼らは**永久に昼も夜も苦しめられる(*拘束される)**。）その時のことをイメージしてみてください。心に一点の曇りもなく，「エホバは私の友達です」と言えるようになります。救われたこと，「言葉にできないほど素晴らしい無償の贈り物」をもらったことがうれしくてうれしくてたまらない。そんな毎日なんでしょうね。（コリ二 9:15 **言葉にできないほど素晴らしい無償の贈り物を下さる神に感謝しましょう。**）



エホバはイエス・キリストを通して救ってくれる。

（6 節を参照）

エホバのためにできること

7. エホバは私たちにどんなチャンスをくれましたか。（ルカ 1:74，75）

7 ルカ 1:74，75 神は私たちを**敵から救い出した後，恐れずに神聖な奉仕を行えるようにして**くださいます。 75 私たちは**いつの日も神の前で忠実で(*揺るぎない思いを抱いて)正しく**あるのです。
を読む。エホバがくださった贖いのおかげで，私たちには特別なチャンスが与えられました。
「***恐れずに神聖な奉仕を行えるように***」なったんです。「神聖な奉仕」とは何でしょうか。**エホバのために真っすぐな気持ちですること全部**です。例えば，伝道，祈り，聖書を学ぶこと，集会や大会への出席などがあります。また，ベテル奉仕や建設奉仕，王国会館や大会ホールのメンテナンスなどもあります。

8. 私たちはどんなことを恐れる必要はありませんか。

8 私たちは「恐れずに」エホバに奉仕できるようになりました。まず，死を恐れなくて済みます。私たちがエホバのために頑張れるのは，今の人生が全てじゃないと分かっていて，永遠の幸せというスケールで物を考えているからです。また，たとえ命を落としてもイエスが必ず生き返らせてくれることを信じているので，反対してくる人たちに命を奪われそうになっても，信念を曲げたりはしません。（ヨハ 6:39，40 **私を遣わした方が望むこと**とは，私が，**託された全ての人を一人も失うことなく**終わりの日に**復活させる**ことです。 40 私の父が望むのは，**子を認めて信仰を抱く人が皆，永遠の命を受**けることなのです。私はその人を**終わりの日に復活**させます」。）
2 つ目に，「こんな罪まみれの自分はエホバに嫌われているんじゃないか」とビクビクする必要はありません。エホバに愛されていること，失敗しても気持ちよく許してくれることを心から信じているので，晴れやかな気持ちでいられます。（ヨハ一 4:9，10 神は独り子を世に遣わし，その方によって私たちが命を得られるようにしてくださいました。このことから，**神が私たちを愛してくださっている**ことが**明らかに**なりました。 10 **私たちが神を愛したというより，神が私たちを愛し**，私たちの**罪を償う(*私たちを神と和解させる)犠牲**として**ご自分の子を遣わして**くださったのです。**これこそが愛**です。）

9. どんなことのせいで苦しむことがありますか。

9 でも中には「私の姿を見てエホバが喜んでくれるなんてありえない，どんなに頑張ったって無駄だ」と感じる人がいます。そう感じるのは，心に深く残っているトラウマのせいかもしれません。あるいは，過去にしてしまった良くないことへの後ろめたさのせいかもしれません。長老たちに相談し，エホバに謝りました。でも，まだモヤモヤは消えません。あなたもそんなふうに苦しくなることがありますか。

10-11. 心が痛む時，どんなことができますか。

10 そういう痛みを感じる時に何ができるか，こんな例えで考えてみましょう。あなたが足を骨折してしまったとします。病院に行くと，先生から「時間はかかりますけど，必ず治ります。でもリハビリが必要ですね」と言われます。でもあなたはまだ心配です。「本当に治るのかな？」そ

んな時どうしたらいいでしょうか。それでもお医者さんを信じてリハビリに取り組みますよね。時間はかかるかもしれませんが，やがて足は良くなって，歩いたり走ったりできるようになります。

11 私たちも以前してしまったことを引きずって心が痛むことがあります。でもエホバはそういう痛みを治すと言ってくれています。贖いを通して癒やしてくれます。（ヨハ 1:16，17 私たちは皆，**彼に満ちていたものの中**から**受け**，しかも**惜しみない親切**を**繰り返し受け**た。 17 なぜなら，律法はモーセを通して与えられ，**惜しみない親切と真理**は**イエス・キリストを通**して**実現**したからである。ロマ 3:23，24 **全ての人は罪人**になったので，**神の栄光に達**することが**できません**。 24 **キリスト・イエスが払った贖い**によって**解放**され，**神の惜しみない親切**によって**正しいと認**められることは，**無償の贈り物**なのです。ヨハ一 3:19，20 そのようにして，私たちは**自分が真理から出**ていることを**確信**し，**神の前で安心(*心を納得させることが)できます**。 20 **心に責められることがあっても安心**できるのです。**神**は**私たちの心より大きく**(c*私たち以上に私たちのことを知っているということ)，**全てのことを知**っているからです。）私たちにぴったりのリハビリプランも用意してくれています。それで，祈り，聖書を読み，エホバとの友情を強くする習慣を続けてリハビリしましょう。（詩 1:2 その人はエホバの律法を喜び，**昼も夜も小声で読む**(*思い巡らす)。テサ一 5:17 **絶えず祈**ってください。ヘブ 10:25 **仲間と集まる**ことを**怠ってはなりません**。よく欠席する人たちに倣わないようにし，**いつも励まし合**いましょう。定められた日が近づいているのですから(*のを見て)，**ますますこうしたことを行**っていきましょう。）本当のリハビリと同じように，すぐに良くなっている感覚はないかもしれません。そういう時**こそ**，エホバを信じましょう。諦めたくなってもくじけずに続けましょう。（フィリ 3:16 いずれにしても，私たちは**これまで進歩**してきたのですから，**この同じ道をきちんと歩**んでいきましょう。）痛みがある中でも毎日やっていくための力をくれているエホバに感謝することも大切です。私たちがエホバとイエスのために，恐れずにいろんな奉仕ができているのは，とってもありがたいことですね。

伝道という任務

12. バプテストのヨハネはどのように道を整えましたか。（ルカ 1:76-79）

12 ルカ 1:76-79 わが子よ，おまえは**至高者の預言者**と呼ばれる。**道を整えるため**にエホバの前を行くからだ。 77 そして，**罪の許しによる救い**について**民に知**らせる。 78 それは**神の温かい思いやり**による。この思いやりによって，神は私たちを夜明けのように照らし， 79 **闇と死の陰にいる人たちに光を与**え，私たちを**平和の道に導**く」。を読む。ゼカリヤは，生まれたばかりの息子ヨハネについて，こう預言しました。「*おまえは……道を整えるためにエホバの前を行く*」。ヨハネはこの預言の通りに生きていきました。熱い心で伝道に打ち込みました。生き方を変え，バプテスマを受け，もうすぐ来るメシアを迎えるように，ユダヤ人に勧めました。イエスにバプテスマを施した後，「見なさい，人類の罪を取り去る，神の子羊です！」と言いました。そうやって，この人こそ約束のメシアだということをみんなの前ではっきり伝えました。それからはイエスに道を譲り，自分の弟子たちにも**イエスに付いていくよう**勧めました。（ヨハ 1:29 次の日，ヨハネはイエスがやって来るのを見て，言った。「見なさい，人類の罪を取り去る，神の子羊です！，

34-36 私はそれを見たので，この方こそ神の子だと証言したのです」。 35 また次の日，ヨハネは弟子 2 人と立っていて， 36 イエスが歩いているのを見て，言った。「見なさい，神の子羊です！」，40，41 ヨハネが言ったことを聞いてイエスに付いていった 2 人のうちの 1 人は，シモン・ペテロの兄弟アンデレだった。 41 アンデレはまず自分の兄弟シモンを見つけて，言った。「私たちはメシア（「キリスト」という意味）を見つけた」。）

13. エホバに仕える人にとって，メシアは「夜明け」のような存在です。どうしてですか。

13 バプテストのヨハネは，誰がメシアなのかをみんなにはっきり伝えました。でも，このニュースはヨハネだけではなく，もっともっとたくさんの人によって広められなければいけません。どうしてでしょうか。ゼカリヤによると，メシアは「*夜明け*」のような存在です。メシアの登場によって，新しい時代が幕を開けます。信じる人はみんな救われるようになります。まさにビッグニュースです。それで，このニュースは世界中で伝えられないといけません。どうやってでしょうか。

14. イエスと弟子たちはどんな大切な仕事をしましたか。（イザヤ 61:1，2）

14 イエス自身がこのニュースを大々的に伝え，「*闇と死の陰にいる人たちに光を与え*」ました。見下されていて報われない人たちに思いやり深く接し「エホバの恵みの年」について伝えました。（イザヤ 61:1，2 主権者である主エホバの聖なる力が私の上にある。 エホバが私を選び(d*に油を注ぎ/用語集「油を注ぐ」参照人が特別な奉仕のために選ばれたことや，物が特別な用途のために献じられたことの象徴として，その人や物に油が注がれた。原語の「油を注ぐ」という表現は単に「選ぶ」という意味で使われることがあり，必ずしも実際に油が注がれたわけではない。)，温厚な人に良い知らせを告げるようにさせたからである。 私は神から遣わされて，心が傷ついた人を癒やし， 捕らわれている人に釈放を，囚人に目が大きく開かれることを知らせる。 2 また，エホバの恵み(*善意)の年と， 私たちの神の復讐の日について広め， 嘆き悲しむ人全てを慰め，を読む。ルカ 4:16-21 イエスは自分が育った土地ナザレに来た。そして，安息日の自分の習慣通り，会堂に入り，朗読のために立ち上がった。 17 預言者イザヤの巻物が手渡されると，巻物を開いて，こう書いてある所を見つけた。 18 「エホバの聖なる力が私の上にある。神が私を選び(d*に油を注ぎ)，貧しい人に良い知らせを告げるようにさせたからである。私は神から遣わされて，捕らわれている人に釈放を，目が見えない人に視力の回復を知らせ，打ちのめされた人を解放し， 19 エホバに受け入れられる年を伝える」。 20 イエスは巻物を巻き，それを係の人に返して，腰を下ろした。会堂にいた全ての人の目がじっとイエスに注がれた。 21 そこでこう言い始めた。「皆さんがいま聞いた(d*の耳にある)この聖句は，今日実現しています」。）イエスは，「天の王国は近づいた」ことを燃えるような心で知らせました。でも，もっともっと伝道する人が必要だと分かっていたので，弟子たちをトレーニングしました。（マタ 4:16，17 闇にいる民は大きな光を見，死の陰に覆われた地方にいる人たちの上に光が昇った」。 17 その時から，イエスは伝道を開始して，「悔い改めなさい。天の王国は近づいたからです」と言い始めた。; 10:7 行って，『天の王国は近づいた』と伝道しなさい。; 28:19，20 それで，行って，全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテ

スマを施し，20 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです」。）

15. 今，伝道に力を入れることはかつてなく大切です。どうしてですか。

15 現代の私たちも，エホバからのメッセージを託されて伝道する任務をかけがえのないものだと思っています。イエスの贖い，神の王国について，今のうちにできるだけたくさんの人に知らせたいと思います。どうしてでしょうか。もうすぐ「世界の始めから今まで起きたことが……ないような大患難」が始まるからです。（マタ 24:21 その時，世界の始めから今まで起きたことがなく，いえ，二度と起きないような大患難があるからです。）大患難の間にも，エホバの側に付く人が大勢いる可能性があります。もしかすると，私たちが伝道していたことを思い出してくれるのかもしれません。その後，イエスと 14 万 4000 人，天使たちは，悪い人たちを倒します。（マタ 25:34 それから王は，右にいる人たちに言います。『さあ，私の父に祝福された人たち，世が始まって以来あなたたちのために用意されている王国を受けなさい。啓 16:16 それらの息(*言葉/ギ語プネウマ)により，王たちはヘブライ語でハルマゲドン(*アルマゲドン/m メギドの山)と呼ばれる場所に集められた。; 19:19 さらに見ると，野獣と地上の王たちとその軍勢が，馬に乗っている方とその軍勢に対して戦うために集まっていた。）こうして考えると，今の頑張りは無駄じゃない，これからもベストを尽くして伝道したいと思えます。（マタ 24:14 そして，王国の良い知らせは，全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます。マル 13:10 また，全ての国の人々の間で，良い知らせがまず伝えられなければなりません。）

16. これからもどうしていきたいと思いますか。（写真も参照。）

16 この記事ではルカ 1 章 68-79 節「イスラエルの神エホバが賛美されますように。ご自分の民に注意を向け，救出されたからです。69 そして，ご自分に仕えたダビデの家系に救いの角が現れるようにしてくださいました。70 昔の聖なる預言者たちを通して語られた通りです。71 神は私たちを，敵から，また私たちを憎む全ての者から救ってくださるのです。72 神は父祖たちとの関係で憐れみを示し，聖なる契約を思い出されます。73 この契約は，父祖アブラハムに誓われた誓いのことで，74 神は私たちを敵から救い出した後，恐れずに神聖な奉仕を行えるようにしてくださいます。75 私たちはいつの日も神の前で忠実で(*揺るぎない思いを抱いて)正しくあるのです。76 わが子よ，おまえは至高者の預言者と呼ばれる。道を整えるためにエホバの前を行くからだ。77 そして，罪の許しによる救いについて民に知らせる。78 それは神の温かい思いやりによる。この思いやりによって，神は私たちを夜明けのように照らし，79 闇と死の陰にいる人たちに光を与え，私たちを平和の道に導く」。に書かれているゼカリヤの言葉を考えてきました。そこから私たちが大事にしたい 3 つのことが浮かび上がってきます。①救われるという事実，②エホバのためにできること，③伝道という任務です。」私たちはイエスの贖いに信仰を持っていて，救われることを本当にありがたく思っています。そして，エホバのために生きていきたい，エホバのためなら何でもしたいという思いでいます。そういう気持ちを原動力にして，伝道に熱い心で取り組みましょう。エホバが全ての人を愛していて，救いたいと思っていることを伝えていきましょう。神の王国が悪い人たち全てを倒し，地球がパラダイスになるという明るい未来についても伝え

たいですね。そうやって，みんなが「恐れずに神聖な奉仕を行えるように」助けていきましょう。「私たちはいつの日も神の前で忠実で正しくあるのです」。（ルカ 1:74，75 神は私たちを敵から救い出した後，恐れずに神聖な奉仕を行えるようにしてくださいます。 75 私たちはいつの日も神の前で忠実で(*揺るぎない思いを抱いて)正しくあるのです。）





救ってもらえることに感謝し，エホバのためにできることを大切にしていると，伝道にもっと打ち込めるようになる。（16 節を参照）*写真や挿絵: ①枚目の写真で，2 人の姉妹が家を訪問して伝道している。②枚目の写真で，仕事の休憩中の兄弟が，同僚に聖書について話している。③枚目の写真で，姉妹が学校で自分の信じていることを説明している。先生とクラスメートが真剣に聞いている。

ルカ 1 章 68-79 節から学べたこと

1．エホバは愛する人にどんな約束をしていますか。

・S02　「強力な救い主」メシアを通して救うと約束。

・S03　1 世紀のユダヤ人は、サタンとサタンによって持ち込まれた罪と死から、さらにモーセの律法を完璧に守れなかったために受けることになっていた罰から救われる必要があった。

・S05　私たちは、今もイエスによる贖いのおかげで救われている。

・S06　将来エホバは千年統治の終わりまでに、私たちを罪から自由にし、サタンと邪悪な天使たちとその手下たちを完全に消し去って、イエス･キリストを通して救ってくださる。

2．イエスの贖いのおかげでどんなチャンスがありますか。

・S07　恐れずに神聖な奉仕つまり伝道、祈り、聖書を学ぶこと、集会や大会への出席、ベテル奉仕や建設奉仕、王国会館や大会ホールのメンテナンスなども行えるようになった。

・S08　死を恐れず、エホバに愛されていること、失敗しても気持ちよく許してくれることを心から信じているので、晴れやかな気持ちで恐れずに居られる。

3．どんな任務がありますか。

・S15　私たちも、エホバからのメッセージを託されて伝道する任務を大切にし、イエスの贖い、神の王国について、今のうちにできるだけたくさんの人に知らせたい。
大患難の間にも、エホバの側に付く人が大勢いる可能性があり、今の頑張りは無駄ではないので、これからもベストを尽くして伝道を続けたい。

159 番の歌 エホバをたたえる